

# 第1学年 化学基礎（人権）学習指導案

1 主 題 環境問題と人権～身の回りに溢れている高分子化合物～

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

- (1) 環境問題を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、人間の健康や命に影響を及ぼすことを理解させ、一人一人が責任ある行動をとることの大切さに気付かせる。
- (2) 他者の意見を尊重しながら、すべての人の人権が守られた持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動していこうとする態度を育てる。

4 指導計画

(1)これまでの学習

分子と共有結合	・・・・・・・・・・・・・・・・	2時間
高分子化合物	・・・・・・・・・・・・・・・・	1時間

(2)本時の学習

環境問題と人権～身の回りに溢れている高分子化合物～	・・・・	1時間
---------------------------	------	-----

(3)これから学習

電気陰性度と分子の極性	・・・・・・・・・・・・	1時間
-------------	--------------	-----

5 本時の学習

(1)目標

- ① プラスチックが環境に与える影響（特にマイクロプラスチックの問題）を科学的・社会的な視点から考察し、それが最終的に人間の健康や命に深刻な被害を与えることを理解させる。
- ② 環境問題を「自分事」として捉えさせ、すべての人の人権が守られた持続可能な社会の実現に向けて、日常生活の中で主体的に考え方行動していこうとする意欲を高める。

(2)普遍的な学習のテーマ・・・基本的人権の尊重、生命の尊重

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	○前時までの学習を振り返り、本時の目標を確認する。	○前時までの学習を想起させ、本時の学習への意識付けをする。	
展開 (40分)	○日常生活の中で使っているプラスチックの利便性について考える。  ○プラスチックに利便性がある反面、私たちの環境や健康にどのような影響を与えていているのかグループで調べて話し合う。  ○日常生活で自分たちにどのような行動ができるかグループで話し合う。	○電子黒板を用いて、日常で用いているプラスチックを提示し、利便性を確認させる。  ○プラスチック汚染で誰が一番影響を受けているのか考えさせ、環境問題と人権のつながりについて意識させる。  ○一人一人の小さな取組が環境の保全や人権を守ることにつながることを理解させ、どう行動すべきか考えさせる。	○プラスチックが環境や人命に深刻な影響を与えることが理解できたか。 (知識的側面)  ○環境問題を自分事として捉え、人権問題として自分に何ができるかを考えできているか。 (技能的側面)
まとめ (5分)	○本時の学習内容を振り返り、ワークシートにまとめる。	○レジ袋をエコバックの利用に変更したり、プラスチック製から環境にやさしい原料でできた製品に変更する等のように、普段の自分の身の回りの行動から考えさせる。	○すべての人の人権が守られた持続可能な社会の実現に向けて、主体的に考え方行動していくこうとする意欲が高まったか。 (価値的・態度的側面)